

会員 各位

一般社団法人 姫路薬剤師会 会長 浦上 文男  
薬局経営部部長 池口 由美

## 【重要】経口抗がん剤の指導について

拝啓 先生方におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より  
当会へのご理解、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

表題の件について、医療機関より直近に発生した過誤事例および経口抗がん剤調剤時の  
注意点について情報提供いただきました。患者様の治療に大きな影響を与える恐れがあり  
ます。内容をご確認いただき、同様の事例が発生しないようご留意ください。また、処方内  
容に疑義が生じた際や副作用を疑う症例については、疑義照会の徹底を今一度お願い申し  
上げます。

過誤事例：経口抗がん剤と抗がん剤点滴を組み合わせで治療している患者様。経口抗がん  
剤の処方箋を応需した薬局は、在庫不足であったことから服用開始日を1週間後ろにずら  
した。その結果、抗がん剤投与スケジュールがずれてしまい、病院受診日に抗がん剤点滴を  
使うことができなくなった。

- ① 服用開始日と投与スケジュールが不明な場合（処方せん記載内容と患者からの聞き取り  
に相違があるなど）の疑義照会の徹底
- ② 服用開始日に薬剤が間に合わない場合は病院へ連絡していただき医師と協議する
- ③ 飲み忘れ時の対応の確認
  - ・ 飲み忘れた場合は忘れたままで良いこと
  - ・ 1回に2回分を服用しないこと
  - ・ 体調不良時は服用 skip 可であること（skip が続く場合は病院に連絡する）
  - ・ 服用 skip した場合でも投薬期間、休薬期間は自己調節しないこと
- ④ 初回投与量が多量に減量されているとき（1日量と1回量の誤りの可能性）の疑義  
照会の徹底
- ⑤ 手足症候群が出やすい薬剤（ゼローダ、ネクサバル等）は頻回に足のチェックをする  
よう指導していただき（足は朝靴下履いて、お風呂入るまで見ないため）、保湿剤処方  
の必要性を確認し、必要であれば医師に情報提供
- ⑥ 予め指示されている場合を除き発熱などの症状が出たら病院に連絡するよう説明（骨髄  
抑制で易感染になっている可能性があるため）
- ⑦ 下痢や皮膚症状など副作用がひどい時は副作用対策の薬の処方や減量の必要性につい  
て疑義照会

注意していただきたい副作用（参考）

- ★手足症候群：ゼローダ、ネクサバル、スチバーガ、レンビマ、スーテントなど
  - ★下痢：TS-1、ロンサーフ、ベージニオ、ネクサバル、スーテントなど
  - ★口内炎：TS-1、アフィニトール、カペシタビンなど
  - ★嘔吐（悪心）：ゼローダ、TS-1、ロンサーフ、リムパーザ、グリベック、スーテントなど
- 以上